

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 2月 3日

事業所名 放課後等デイサービス ここわ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		適切であるが休日や長期休暇は公共施設を利用してたくさん体を動かす時間も確保している。	今後も子どもの個々の特性に応じて対応していく。
	2	職員の配置数は適切である	4		特性に応じて対応している。	今後も職員の連携を密に図り対応していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	1	棚の角を保護したり床にクッション性のあるマットをずれないように固定して敷いている。	完全なバリアフリー化は難しいが職員の危機意識の向上と見守りに努める。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		ミーティングで支援の振り返り、業務改善の話し合いができている。法人内会議を行っている。	今後も視野を広げて取り組んでいく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1	その都度職員間で話し合いが持たれている。	今後も真摯に受け止め対応していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		今後の課題とする。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		法人内研修や外部研修に参加している。事業所でAED研修も行っている。	今後も積極的に参加していく。
適切な支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	1	子どもと保護者よりアセスメントを把握し計画内容に反映するよう努めている。	ニーズや課題を整理・分析しやすいアセスメントシートの見直しが必要である。支援会議にて計画内容を深め計画内容を分かりやすく伝えていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		アセスメントシートを見直し今後の計画書や支援を深める。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
援 の 提 供	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		全スタッフで立案している。法人内合同活動も行っている。	季節感を取り入れながら個性や特性に配慮した内容に努める。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		マンネリ化しないようにプログラムの振り返りや反省をしている。	今後も多方面からの情報を集める。子どもに楽しんでもらえる内容になるようにしていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		一日のスケジュールを可視化している。	休日・長期休暇にしか出来ない活動を今後も子どもの特性や個性に応じて設定する。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4		集団活動は特性に応じて対応している。	子どもの状況を把握して、個性や特性、意欲や能力に合わせて行っていく。「得意を伸ばす」内容を取り入れる。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		職員の役割分担については可視化と口頭で確認している。	今後も職員間の連携を密に行い子どもに寄り添い支援していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		支援記録を記載しながら振り返りを行っている。	支援の振り返りから見えた気づきを次の支援につなげていくよう努める。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		全スタッフで記録を行っている。	職員間で記録の仕方、内容の共通認識が今後の課題。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		課題がみられた時は適宜計画書の見直しを行っている。	今後も子ども一人一人に寄り添った計画書を作成する。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4		基本活動を組み合わせ支援している。	今後もマンネリ化しないように様々な活動内容を取り入れていく。
関 係 機 関 や 保	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		参画前には情報収集を行い、管理者が参加している。	参加した者は全スタッフに共有し、その後の支援につなげていく。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4		送迎時のトラブルについてはマニュアル作成を行い実施できている。	今後も学校との情報共有を行い支援につなげていきたい。 保護者からの予定表やその日の送迎表作成後はダブルチェックを徹底する。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4		現在対象児童がいないが、知識を深める必要はある。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1	保護者や相談員の情報提供が主となっている。	情報共有を行っていきたいため今後の課題とする。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4		必要に応じて行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	研修に参加している。	今後も専門機関の助言や研修を受けて支援の向上に努めたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	公園等で交流ができています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4		参加できていないので今後の課題とする。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		送迎時やアセスメントにて共通理解を持つようになっている。	同法人内の連携を密にして、更に保護者との共通理解を深めて対応していく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3		研修や勉強会を通して職員の知識を深める。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時に行っている。	今後も丁寧な対応で説明を行う。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		家庭連携を行っている。	今後も保護者に信頼をしていただける支援力の向上を図る。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4		コロナ禍の為出来ていない。保護者の意見を聞きながら検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		苦情受付体制を整えている。	今後も苦情に迅速な対応と真摯な対応に努める。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		ホームページブログにて伝えている。	最新の情報発信ができていない。今後の課題とする。
	35	個人情報に十分注意している	4			今後も個人情報に十分注意していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		必要ツールを用いている。	今後も誠実に対応していく。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		今後の課題としたい。	
非 常	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4		各種マニュアル作成をしている。感染症対策委員会が設けられている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
時 等 の 対 応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		定期的に訓練を実施している	実施後はホームページにて公開している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		虐待防止委員会を設け研修を1年に2回実施している。	今後も研修や勉強会を通して全職員の虐待防止に対する知識や意識の向上を図る。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4			保護者同意の上で整容を行い計画書に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		4		現在対象児童がいないが、知識を深める必要はある。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		同法人内で事例を共有している。	今後も小さなことでも記載する職員の意識の向上に努める。